

**第34回日本性科学会(JSSS)学術集会** / **第15回JFS性科学セミナー** **10月、岡山**

**会長インタビュー**

岡山大学大学院保健学研究科 (同大学ジェンダークリニック)

中塚 幹也教授



第34回日本性科学会(JSSS)学術集会、第15回JFS性科学セミナーが10月11、12日、岡山市の岡山大学Junko Fukutake Hall)開かれる。メインテーマは「生殖と性」。会長を務める中塚幹也・岡山大学大学院保健学研究科教授は「本大会は性同一性障害診療の拠

点であり、多くの臨床研究も行われています。また、昨年、医学部と農学部が協力して岡山大学生殖補助医療技術教育センターを開設し、体外受精などで卵

子凍結のガイドラインが示されました。第三者の配偶

子提供による生殖医療の法

「生殖と性」の課題を社会に発信

**「生殖と性」の課題を社会に発信**

**生殖医療や性同一性障害の知見深める**

で施策に反映する必要性を話したいと思います」

シンポジウムは2題。同

1「各種疾患と性」では子

宮頸がん、乳がん、性同一

性障害、男性不妊といった

医療を取り上げ、どのように子どもに伝えることができるかを議論する。シンポジストに公立中学校の養護教諭も加わり、中学校における性教育の実態を報告してもらった。

ランチョンセミナーは「子宮内膜症と性交時痛」

「性同一性障害の概念と現況」の2題。一般公開企画

として映画「うまれる」の上映会とトランスジェンダー(性同一性障害)であることを公表し活躍している女性シンガーソングライター中村中の「音楽とトークの夕べ」が開かれる(いずれも無料)。

中塚氏は「生殖医療や性同一性障害について、専門

子、精子、胚を取り扱う胚培養士の養成コースを開講しました。そこで、今回のメインテーマを「生殖と性」にし、この大きな課題を抱えたテーマについて皆で考えたいと思います」と話す。

会長講演のテーマは「生殖と性」社会を知り社会に

場から社会に発信すること

同2「性教育でジェンダー、セクシュアリティ、生殖医療を取り上げる」で

は、デートDV、LGBT

性同一性障害について、専門

家だけでなく一般の方にも知ってもらおうと企画しました。多くの方に参加していただければと思います」と話す。